

平成 25 年度緊急度判定体系のあり方に関する検討会報告書（目次案）

はじめに

第 1 章 背景と目的

1. 背景と目的
2. 検討会の体制と検討実績

第 2 章 昨年までの検討

1. 平成 22 年度救急業務高度化推進検討会 重症度・緊急度による判定・選別に関する作業部会
2. 平成 23 年度社会全体で共有する緊急度判定（トリアージ）体系のあり方検討会
3. 平成 24 年度緊急度判定体系実証検証事業

第 3 章 本年度の検討内容

1. 本年度の検討会の目的と体制
2. 各段階における検討内容
 - ア) 電話相談プロトコル
 1. 昨年度の検討経緯と課題
 2. 本年度の検討内容
 3. 検討結果
 - (1) プロトコル Ver. 1 の策定
 - (2) 救急受診ガイド 2014 年版の策定
 4. 電話相談事業の普及・導入に向けた検討
 - (1) 背景
 - (2) 調査
 - (3) 結果
 - (4) 導入への課題とその対応について
 5. 今後の課題
 - イ) 119 番通報プロトコル
 1. 昨年度の検討経緯と課題
 2. 本年度の検討内容
 3. プロトコル Ver. 1 の策定
 - (1) アルゴリズム
 - (2) ディスパッチカテゴリ
 - (3) プロトコル修正
 - (4) 追加した症候
 4. 今後の課題
 - ウ) 救急現場プロトコル
 1. 昨年度の検討経緯と課題
 2. 本年度の検討内容

3. プロトコル Ver. 1 の策定
 - (1) プロトコル修正
 - (2) 追加した症候
 - (3) 緊急度判定後の搬送について

エ) 緊急度検証基準

1. 改訂緊急度検証基準の策定
 - (1) 緊急度検証基準の再検討
 - (2) 改訂緊急度検証基準の策定
2. 検証記録票再調査

第4章 緊急度判定体系の導入に向けて

1. 総論
2. 各段階での導入を目指した工夫
3. 緊急度判定の効果例（導入地域の紹介）

第5章 今後の課題

1. 今後の課題
2. まとめ